

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、新津圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年7月22日（水）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：9人 関係機関：16人
場 所	南区役所 大会議室
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 浜松市社会福祉協議会浜松地区センター長</p> <p>3. 役員について 会長・副会長を選出・承認された。</p> <p>4. 会長挨拶</p> <p>5. 自己紹介</p> <p>6. 協議内容</p> <p>① 令和元年度 年間報告について 生活支援コーディネーターより昨年度協議体会議について報告。</p> <p>②令和2年度 年間計画について ・年間4回開催する予定。 ※コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら、状況に応じて対応していく。</p> <p>③新型コロナウイルスによる自粛期間中の活動・生活について 〈自粛期間中の地域の活動について〉</p> <p>○地区社協</p> <p>サマーフェスタ…今年度は中止。PTAから“子供が描いた絵を高齢者に届けたい”と声があがったため実施する方向で動いている。</p> <p>子ども食堂…3月から中止。6月から再開。三密を避け家族ごとに分かれて対応。交流する遊びはなくした。いつも食材を提供してくれている会社が自粛期間中も寄付してくれた。その食材を使わせてもらって実施。昨年まで来てくれていた40人ほどの子どもに手紙と折り紙の本・折り紙をレターパックで送った。←子ども達からも返事があった。今までは集団への対応だったけれど、自粛期間中は個々の人との関わりができてよかった。子ども食堂を食事以外の方法でやっていくこともできると感じた。</p>

子どもの健全育成…年4回の行事を6月・8月は中止。50～60人が集まるため、10月以降の対応については迷っている。

カフェ…会場にしている施設を使えないため、中止。

ふれあい昼食会…50～60人が集まるため、中止。

サロン…9月から開催予定のサロンと今年度の活動を中止するサロンがある。  
スタッフが少ないため“活動をどのように充実させていくのか”が課題。  
各サロンに消毒液、マスクを配布した。自治会で体温計を購入した。

輪投げ大会…9月開催の予定だったが中止。

家事支援…屋外の活動に絞っていたが、今後は屋内の活動も検討していく予定。

#### ○地区民児協

訪問…7月末まで中止。チラシのポスティングや電話などで対応。相談はほとんどなし。

会議…7月末まで中止。8月から通常開催に戻す予定。文書連絡で対応。

#### ○自治会

総会・祭り…中止。

防災訓練…役員のみで実施。避難所が低地で大雨の時は心配。避難所だけでなく、緊急避難場所についても市から開所の指示がほしい。福祉避難所はどんなときに開けるのか市から説明がほしい。

敬老会…記念品の配布のみにする予定。

マスク寄付…マスクを協働センターで回収し施設に届ける活動を実施。

小学校の登校時の見守り…実施。子どもの見守りのために防犯カメラを購入。

#### ○保護司会

保護司の活動は面会禁止・会議も中止。南区の理事会は毎月開催（マスク着用）。活動をしないのではなく、どう工夫してやっていくのかを考えている。

#### ○地域包括支援センター新津

昨年とさほど変わったことはなく、相談についても増えていない。

家にいる時間が増えてケンカになるケースが増えている→虐待も増加。

#### ○指定居宅介護支援事業所南風

入所施設の面会中止。職員の行動にも制限を設け、気をつけている。

対応については管理職で集まって随時考えている。

○長寿保険課・高齢者福祉課

アクリル板を設置した。市役所には来庁者がたくさん来ている。

ふれあい交流センターで行っている元気はつらつ教室は実施。

↑新しい生活様式に沿ってマスク着用、制限を設けるなどしている。

〈自粛期間中のご自身の生活について〉

- ・旅行に行けなくて時間が余っている。
- ・何かやることがないとダメだと思う。
- ・妻の実家の片づけをしていた。
- ・歯医者に行っても県外に移動していないか等チェックされるようになった。  
→気軽に病院にも行きづらい状況がある。

〈集まらずに地域でつながる工夫について〉

- ・生活支援コーディネーターよりコロナ禍で他市町が工夫している活動について紹介

〈ステイホームのなかで健康に過ごすポイント〉

- ・地域包括支援センター新津より説明。  
口腔ケア、栄養、日々の活動、運動、睡眠、排泄、受診・服薬、社会参加について

④指定居宅介護支援事業所南風より

牧之原市の事例をもとに、“働けるデイサービス”という新しい取組みを南風の事業として考えている。この取組みの実現には地域住民のみなさんの理解と協力が必要になる。今後、地域住民の認知症の理解を深めるための啓発活動や回覧板での周知をさせてもらえたらと考えている。段階的に少しずつ進めていくので、取組みが形になった際には、地域の方からお仕事依頼（草取りなどの軽作業）をいただくような仕組みになればと思っている。

委員：よい取組みだと思う。ぜひ進めていってほしい。自分がもう少し高齢になったら利用したいと思うし、自分の地区でも実施してほしい。

7. 次回開催予定

9月30日（水）9：30～11：00 可美協働センター ホール

8. 閉会 副会長よりまとめの言葉

今後の見通し等

今回まで地域の活動・状況の情報共有を主に行ってきた。今後はテーマを絞り、具体的に地域課題を検討していく。